
4．シンポジウム

「女性の目から見た 和歌山の魅力再発見」

和歌山大学経済学部

助 手 橋 本 貴 子

2000 年（平成 12 年）3 月 11 日（土）和歌山大学生涯学習教育研究センターで、和歌山大学経済学部創立 50 周年記念講演とシンポジウムが行われました。（主催：和歌山大学経済学部、後援：和歌山地域経済研究機構）

第 1 部では、和歌山県企画部企画総務課長の渡辺由美子さんが、「和歌山の魅力 って、なんだろう～これからの和歌山を考える～」と題して基調講演を行いました。

その中で渡辺さんは、これまでに経験したことをふまえながら、平成 9 年 4 月からの和歌山での仕事や日常生活を振り返り、和歌山の印象を語られました。和歌山には、温暖な気候と豊かな自然があるが、豊かであるからこそハングリー精神に欠けるのではないかと、もっと PR の仕方を工夫すればよいのではないかと和歌山の弱さを指摘されました。

これからの和歌山については、元気な社会の条件として高齢者、子ども、女性のそれぞれが元気であることをあげ、今の社会の現状を背景にわかりやすくお話いただきました。最後に、渡辺さんは、自分たちの地域をよく知り大切にする心、和歌山にもっと自信を持って欲しいと述べられ、約 1 時間にわたる基調講演を終えました。

第 2 部では、和歌山社会経済研究所研究員の谷奈々さんをコーディネーターに迎え、「女性の目から見た 和歌山の魅力再発見」と題したシンポジウムが行われ、パネリストとして参加した 5 人の女性がそれぞれの立場から意見を述べました。

最初に、パネリスト 5 人が自己紹介を兼ねて、それぞれ和歌山との関わりについて述べ、次に、和歌山の魅力で忘れられていたり、軽視されていることについて意見を述べました。和歌山の魅力としてあげられたことは、和歌山県の豊かな自然であり、そこに暮らす人々でした。パネリス

トには、お店を経営されている方や情報通信の最先端で働く方や大学院に学ぶ方がおられ、仕事や生活を通じて感じる和歌山についても意見が出されました。

最後に、和歌山の魅力創造について意見が述べられ、全国に誇ることができるものをつくることやメディアを利用した和歌山のPRなどが提案されました。

和歌山が大好きな女性ばかりで行われた今回のシンポジウム、観衆は若干少なめでしたが、和歌山の魅力をもっとたくさんの方に知っていただき、和歌山が発展することを願っています。

和歌山大学経済学部創立50周年記念講演&シンポジウム

第1部 基調講演 「《和歌山の魅力》って、なんだろう」

講師：渡辺由美子（和歌山県企画部企画総務課長）

第2部 シンポジウム 「女性の目から見た《和歌山の魅力再発見》」

コーディネーター：谷 奈々

（和歌山社会経済研究所研究員）

パネリスト：渡辺由美子

（和歌山県企画部企画総務課長）

森下倭文子

（森下石油（株）専務取締役）

宮田 栄子

（NTT 移动通信網（株）サービス企画部チーフアドバイザー）

野嶋 廣子（和歌山大学大学院生）

橋本 貴子（和歌山大学経済学部助手）

